

平成 26 年度 学校評価結果報告

宮城県加美農業高等学校 学校評価委員会

1 学校評価の趣旨

- ① 社会の変化に対応し、開かれた学校づくりや特色ある学校づくりを推奨する。
- ② 生徒・保護者の多様化し高度化するニーズに対応した教育を行う。
- ③ 本校自らが教育目標及び教育計画の達成度を点検し評価することで、本校教育活動の改善方法を明らかにする。さらに、評価結果を明らかにすることで保護者及び地域の方々の理解と支持される学校づくり（魅力ある学校づくり）を進める。
- ④ 本校の教育目標達成のための教育活動をより効率的、効果的に行う。
- ⑤ 本校の教育目標達成をめざして、校内組織と教育活動の活性化を図る。

2 学校評価の実施

- ① 調査回数 1回（平成 25 年度は 2 回）
- ② 調査方法 質問紙法
- ③ 実施日及び対象

ア 教員	平成 26 年 12 月 12 日～19 日		44 名
イ 教職員	平成 26 年 12 月 12 日～19 日		57 名
ウ 生徒	平成 26 年 12 月 5 日～19 日	全生徒	207 名
エ 保護者	平成 26 年 12 月 5 日～22 日	全生徒の保護者（世帯数）	203 名
オ 評議員	平成 26 年 12 月 5 日～19 日		5 名

④ 回収状況

	平成 26 年度	平成 25 年度
ア 教員	100 %	(100 % 82.8 %)
イ 教職員	100 %	(100 % 88.5 %)
ウ 生徒	99 %	(96.6 % 94.1 %)
エ 保護者	99 %	(82.6 % 80.8 %)
オ 評議員	100 %	(83.3 % 100 %)

⑤ 集 計 学校評価システム SQS

3 調査結果

- ① 自己点検・自己評価 : 別添資料 A (教員), B (教職員) による
- ② 外部評価 (生徒) : 別添資料 C (生徒) による
- ③ 外部評価 (保護者) : 別添資料 D (保護者) による
- ④ 外部評価 (評議員) : 別添資料 E (評議員) による

4 まとめ

回収率については、生徒と保護者が 99%、教員・教職員と学校評議員は 100%であった。昨年度と比較してみても生徒・保護者の回収率は向上しており、回収できなかったのが、長期入院中の生徒と 1 名と学校不適応の 1 名の合計 2 名のみであったことを考慮すればほぼ 100%とってよい回収率である。

全体を通してみると、今年度も肯定的な調査結果が得られ、概ね良好な学校運営が行われていると考えて良い。否定的割合の多い項目としては、教員・教職員では「保護者・地域住民との連携」、「キャリア教育（進路指導等）」、「三教場の連携」、「研修」、「組織運営」、生徒では「家庭学習の習慣化」、「活発な部活動」、「施設・設備」、保護者では、生徒同様「家庭学習の習慣化」、「活発な部活動」、「施設・設備」に加え「保健管理」と「災害・非常時の連絡方法」が、学校評議員の方からは「活発な部活動」と「施設・設備」が挙げられた。自由記述でいただいた疑問や不満、本校への期待や要望について寄せていただいたご意見についても真摯に受け止め、検討できるものは改善に向けて工夫したいと考える。

また、調査項目についても見直し、教員では「特別支援教育」と「教育環境の整備」、生徒・保護者では「いじめ問題」の項目を追加したいと考えている。